

（評価）
A ……・目標値の100%以上の達成率
B …・目標値の80%以上100%未満の達成率
C …・ 目標値の60%以上80%未満の達成率
D …・ 目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……・目標値の30%未満の達成率
－（その他）…調査中及び達成率による評価ができないもの等

第六次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

施策 番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	項目	単位	28年度 （実績）	30年度 （目標）	30年度 （実績）	元年度 （目標）	元年度 （実績）	2年度 （目標）	2年度 （実績）	評価	成果の状況等 （30年度・コメント）	成果の状況等 （元年度・コメント）	成果の状況等 （2年度・コメント）
3-（1）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（1）障害のある人へ の理解の促進	障害者福 祉推進課	3-1	共生社会という考え方を知っている県民の割合	%	—	—	39	—	38	50	42	B			緩やかに増加しており、今後も共生 社会について周知していく。
3-（1）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（1）障害のある人へ の理解の促進	障害者福 祉推進課	3-2	障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉 県づくり条例に関する周知啓発活動の回数	回	1,201	1,011	1,594	1,011	1,490	1,011	1,368	A	目標を大きく上回る実績だが、今後 も条例等の認知率向上のため、周知 啓発活動に努める。	元年度においても目標を上回る実績 となったが、今後も条例等の認知率 向上のため、周知啓発活動に努め る。	2年度においても目標を上回る実績 となった。今後も第七次計画に従い、 周知啓発活動に努める。
3-（2）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（2）子どもたちへの 福祉教育の推進	健康福祉 指導課	3-3	福祉教育推進員養成研修の修了者数の数	人	19	40	28	40	38	40	0	E	増加傾向ではあるが、一層の周知を 図り増加を目指す。	増加傾向であり、周知を継続する。	新型コロナウイルス感染症の影響に より目標を達成できなかった。令和3 年度は実施方法等を検討し、目標の 達成を目指す。
3-（3）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（3）地域における権 利擁護体制の構築	障害福祉 事業課	3-4	虐待防止アドバイザー派遣数	回	5	15	13	15	16	15	5	D	目標を下回る達成度となっているため、 市町村や障害福祉施設等の関係機 関に働きかけを行っていく必要がある。	市町村や障害福祉施設等の関係機 関に働きかけを行い、目標を上回る 達成度となった。	新型コロナウイルス感染拡大防止の ため、施設へのアドバイザーの派遣 が困難となったため、目標を下回っ た。今後、オンラインの活用など、派 遣方法の見直しを行い、増加を目指 す。
3-（3）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（3）地域における権 利擁護体制の構築	障害者福 祉推進課	3-5	職員対応要領を策定した市町村数	市町村	17	39	43	42	44	45	47	A	目標を上回る実績となった。今後も 未設置の市町村に働きかけを行って いく	元年度においても目標を上回る実績 となった。今後も未設置の市町村に 働きかけを行っていく。	2年度においては目標を下回る実績 となった。今後も未設置の市町村に 働きかけを行っていく。
3-（4）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（4）地域における相 談支援体制の充実	障害者福 祉推進課	3-6	全分野の地域相談員が委嘱されている圏域数	箇所	0	増加を目 指します	0	増加を目 指します	0	増加を目 指します	0	E	地域相談員の委嘱替えを行う年度で はなかったため、目標未達成となっ た。（地域相談員の任期は2年間）	地域相談員の委嘱替えがあったもの の、商品・サービスの分野の地域相 談員の増員ができず、目標未達成と なった。	地域相談員の委嘱替えを行う年度で はなかったため、目標未達成となっ た。（地域相談員の任期は2年間）
3-（4）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（4）地域における相 談支援体制の充実	障害者福 祉推進課	3-7	障害者差別解消支援地域協議会を設置した市 町村数	市町村	10	32	42	38	40	44	44	A	目標を上回る実績となった。今後も 未設置の市町村に働きかけを行って いく	元年度においても目標を上回る実績 となった。今後も未設置の市町村に 働きかけを行っていく。	2年度においても目標を上回る実績 となった。今後も未設置の市町村に 働きかけを行っていく。
3-（5）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（5）手話通訳等の人 材育成	障害者福 祉推進課	3-8	手話通訳者・要約筆記者実養成講習終了見込 者数	人	57	60	48	60	45	60	28	D	・手話通訳養成の最終課程で受講 者、修了率共に伸び悩んだことから H30年度実績は目標値を下回った。	・養成の最終課程において受講者の 殆どが修了したが、目標値は下回っ た。	・新型コロナウイルス感染症の影響 から受講者が減少し、目標達成に至 らなかった。
3-（5）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（5）手話通訳等の人 材育成	障害者福 祉推進課	3-9	盲ろう者向け通訳・介助員養成講習終了見込 者数	人	16	20	15	20	18	20	13	C	・定員に達する受講者があったが、 全員の修了とはならず目標に達しな かった。	・定員に達する受講者があったが、 台風被害の影響もあり、全員の修了 とはならなかった。	・新型コロナウイルス感染症の影響 から受講者が減少し、目標達成に至 らなかった。
3-（5）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（5）手話通訳等の人 材育成	障害者福 祉推進課	3-10	手話通訳者・要約筆記者派遣実利用見込件数	件	457	476	427	476	369	476	191	D	・H30年度実績は目標値に達しな かったが、今後も引き続き事業の周 知に取り組む。	・元年度実績は目標値に達しなかつ たが、今後も引き続き事業の推進に 取り組む。	・新型コロナウイルス感染症の影響 から派遣依頼が減少し、目標達成に 至らなかった。
3-（5）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（5）手話通訳等の人 材育成	障害者福 祉推進課	3-11	盲ろう者向け通訳・介助員派遣実利用見込件 数	件	1,376	1,343	1,556	1,343	1,524	1,343	921	C	・H30年度実績が目標値を上回った。 今後も引き続き事業の周知に組み 込む。	・元年度実績が目標値を上回った。 今後も引き続き事業の推進に組み 込む。	・新型コロナウイルス感染症の影響 から派遣依頼が減少し、目標達成に 至らなかった。
3-（5）	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	（5）手話通訳等の人 材育成	障害者福 祉推進課	3-12	点訳・朗読奉仕員の養成									A	（養成人数の評価）	（養成人数の評価）	（養成人数の評価）
			障害者福 祉推進課		養成人数	人	43	46	47	46	41	46	49	A	・点訳奉仕員24名、音訳奉仕員23名 で計47名の奉仕員を養成し、目標を 達成しました。	点訳奉仕員24名、朗読奉仕員17名 で計41人の奉仕員を養成したが、目 標人数を下回った。	点訳奉仕員27名、音訳奉仕員22名 で計49名の奉仕員を養成し、目標を 達成しました。
			障害者福 祉推進課		研修回数	回	2	2	2	2	2	2	2	A	・点訳、音訳それぞれ1回の研修を実 施し、目標を達成した。なお、研修の 時間数は、点訳が48時間、音訳が40 時間であった。	・点訳、音訳それぞれ1回の研修を実 施し、目標を達成した。なお、研修の 時間数は、点訳が48時間、音訳が41 時間であった。	・点訳、音訳それぞれ1回の研修を実 施し、目標を達成した。なお、研修の 時間数は、点訳が48時間、音訳が40 時間であった。